

奈良県議会の実態

別腹？議員報酬【期末報酬】の疑義

特別職である議員には月額報酬以外にボーナスともいえる期末報酬が存在します。

平成 27 年 11 月に全員一致で議員報酬を 10% 削減を行い、財政改革に対する覚悟を示しました。しかし、昨年度に引き続き【期末報酬】の掛け率を上げる条例案を立て続けに採択しました。維新県議団はこれらの条例に猛反発！！その後、数で押し切られましたが、【有言実行】法務局へ三度目となる供託に行って参りました。

奈良県議会 会派
日本維新の会 5 名
奈良地方方法務局へ供託
期末手当引き上げ額 (3 度目)



紛糾！政務活動費の疑義

議会改革推進会議（委員長は維新の会：川田県議）において政務活動費に対するネット開示や用途基準の見直し等の集中審議が進んでおります。

これまでに架空請求により何期も務めてきた議員（自民党所属）が辞職、平成 28 年 12 月には奈良地裁より大政党所属の議員（自民・民進・共産）が使用用途において返還措置令が出される始末です。県政において多くの疑義がある中、住民の代表として矢面に立つ議員ならば、これまでの慣例・慣習を正して今一度、襟を正して取り組む必要がある。政務活動費を廃止して議員報酬に上乘せするなどのもつての外！



後援会 会長 相田浄司 ご挨拶

～みんなで創ろう夢ある社会～
議員の中には次の選挙を意識して、自分の信念を忘れて市民に耳触りの良い言葉と行動をとる人が見られるが、それは政治屋です。真の政治家とは、自分自身の身を削り血を流して理想に向かい、長期的視野に立つて物事を判断し行動する人でなければなりません。維新のスローガン「古い政治を壊し、新しい政治を創る」を胸に刻み諸課題に高い目標を掲げ、勇猛果敢に取り組み真の政治家を目指す「佐藤みつのり」を今後ともよろしくご支援お願い申し上げます。



奈良県議団
日本維新の会は 5 人で
組織的に展開中！！



【佐藤みつのり 今後の課題】

- 直近に迫る 2025 年問題に対する検討
(福祉・医療・介護制度の保護)
- 徹底した財政改革
(予算優先順位・配分の根本的な見直し)
- 徹底した行政改革
(時代に適した体制及び運用の見直し)
- 議会改革の推進
(定数・報酬、政務活動費及び運用の見直し)
- 奈良県下における維新派議員（首長）の人材発掘及び輩出

理不尽、奈良県ロゴマークデザイン

県はロゴマーク選定において随意契約としたが、地方自治法 167 条及び奈良県契約規則 16 条においてもどうして公募ではなく随契なのか、随契に至る経過が不明瞭である点が問題とされている。下記表をみて素朴に…どうして？奈良県だけが？破格の随契？となっていることに疑問が残ります。



第 28 回 国民文化祭 山科県 5 万 公募	第 32 回 国民文化祭 奈良県 500 万 随契
第 29 回 国民文化祭 秋田県 5 万 公募	第 33 回 国民文化祭 大分県 5 万 公募
第 30 回 国民文化祭 鹿児島県 2 万 公募	2020 年 東京オリンピック 100 万 公募

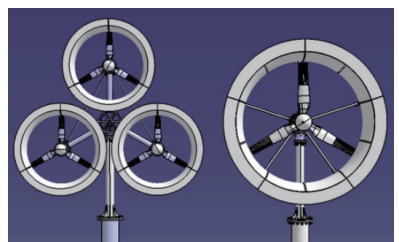
後手！生駒市砂防指定地違法盛土事件

日本維新の会では昨年の行政手続条例改正により創設された制度（処分等の求め）により、平成 28 年 11 月に奈良県に対し生駒市西松ヶ丘における砂防指定地の違法盛土に係る是正措置の求めを行いました。奈良県議会議員と住民が共同で条例による請求を行った例は奈良県政史上初でメディアでも取り上げられました。これまで度重なる近隣住民の訴えに対し、県は具体的な対策を行わず実に 6 年間にわたり危険な状態が放置されている事件でありましたが、維新県議団は川田県議を中心に組織的に独自の調査や度重なる代表質問を始め、委員会にて質疑を行った結果、県はようやく平成 29 年 1 月に県砂防条例違反の疑いで生駒警察署に刑事告発し、行政代執行も視野に入れての対策に重い腰をあげた。この代執行にも税金が使われます（回収できたとしても県調査費用は回収できない）。もっと早くに適切な対応ができていればと思うてしまうのは私だけでしょうか…



注視！奈良県初・風力発電

これまで奈良県では太陽光発電を主軸としてバイオマス発電所開設・小水力発電も試みておりますが、再生可能エネルギーの大部分を太陽光発電に頼っており、発電バランスを大きく欠いた状況にあります。そこで奈良県は初となる風力発電を検討しており、現在においては風況調査が県下各地で行われつつあります。しかしながら、風力発電は各自治体で失敗事例が相次いでおりますので、導入にはひと際注意が必要と判断しております。単なるパフォーマンスで終わることなく、将来を見据えて有益でありながら継続性のある風力発電が実施される様、今後とも担当部局との議論を深め注視して参ります。



導入検討中の小型風車

痛恨！県イベント：大立山祭り

昨年度に引き続き、予算を増額した上で今年の 1 月に大立山祭りが執り行われた。その結果は…県発表来場者数は前年度 50% 減であった。これまでも維新会派はその内容において数多くの質疑を投掛け、時には反対して疑義に対して厳しく事にあたった。しかし、前年度比 50% 減の状態に第一声は『来場者数のカウントの問題』として反省がみられない。報道でも取り上げられているが権力の暴走が続いている。地方自治法にも最小の経費で最大の効果を上げる必要性が謳われているが、一連の経緯を知る者としては県の適切な事業検証を行わない姿勢に憤りを感じている。実際に出店者からも悲鳴に近い声、来場者からはもう飽きた等の厳しいご意見を頂く中、これら全ての結果は必然であり、起こるべくしての結果であると捉えている。



『輝く人を見つめ隊！』 佐藤みつのりは住民の皆様のをみつめます。



女性カウンセラー 真美愛（まみあ）さん
(元奈良県教育委員会所属。小中学校にて生活指導員として勤務経験あり。)
生駒を中心に、シングル女性、子育て中の女性、子育てを終えた女性。さまざまなステージで自分のビジネスを立ち上げた女性たちを募り、バックアップするためのイベントを定期的に主催。出会いと絆の輪を広めながら、自身もカウンセラーとして活躍し、女性の社会進出に貢献されています。
特派員 八木の印象：前向きな言葉で背中を押してくださるような素敵な女性でした！

イベント参加ご希望の方はこちらまで m13sakura.ryo@gmail.com

発行責任者 佐藤みつのり

〒630-0201 奈良県生駒市小明町 556-3 TEL:0743-25-4675/ FAX:0743-25-2489
URL:www.mitsunori-sato.com / E-mail:mitsunori_satou1974@yahoo.co.jp